

令和7年度 登米市

有機農業推進セミナー

「オーガニックビレッジ」として有機農業の拡大を目指す登米市では、有機農産物の認知度向上や需要・取組面積の拡大、有機農業者の創出を図るため、オーガニックプロデューサーを招聘し、経営の多角化や販売戦略を深掘りし、持続可能で再生産可能な農業を確立する具体的な道筋を見出すことを目的に、下記のとおりセミナーを開催します。

日時 令和8年 **1月28日(水)** **14:00～16:00**
(開場 13:30)

会場 **中田農村環境改善センター**
(登米市中田町上沼字西桜場18番地)

参加無料
要事前申込

講師 (オーガニックプロデューサー)



五段農園代表
次代の農と食をつくる会 理事

高谷 裕一郎 氏

岐阜県白川町で有機農業を営む。大学の農学部を卒業後、種苗会社に勤務し、タネの生産を担当。より深く農業に関わりたいと思い、2016年より就農。土を育てる農家。堆肥作りが大好き。ポッドキャスト「小農ラジオ」では、有機栽培や堆肥づくりを主なトピックとして配信。



オーガニックヴィレッジジャパン代表
次代の農と食をつくる会 副代表理事

種藤 潤 氏

大学卒業後、フリーランスの編集者・ライター・ウェブプランナーとして活動を開始。ジャンルは食を中心に地域創生、介護、自衛隊関係など。近年はシュウマイ研究家としても活動。2014年ごろよりOVJに主に編集者として参加。2018年より事務局長。フリーマガジン立ち上げや情報発信、イベント企画を行う。ピオサケプロジェクトは2017年開始当初から関わり、プロジェクト全体の統括を担当。



オーガニックプロデューサーとは

日本の有機農業を広めるために国が派遣する専門家です。生産現場の課題解決から、オーガニック食材を安定的に食卓へ届けるための販路開拓、地域ぐるみのブランドづくりまで、産地に寄り添い「持続可能な農業」をビジネスの面からサポートします。

プログラム



14:00

開会
事業紹介（登米市のオーガニックビレッジの取組）

14:15

基調講演

「次代の有機農業をつくる
～持続可能な農業のヒント～」

・高谷 裕一郎 氏
・種藤 潤 氏

15:10

トークセッション

「有機農業の今、これから」

・高谷 裕一郎 氏
・種藤 潤 氏
・大久保 芳彦 氏
(みやぎ登米農業協同組合 南方水稻部会長)
・菅原 達徳 氏
(宮城県指導農業士)



主催：登米市・登米市有機農業推進協議会

申し込み・問い合わせ

令和8年1月23日（金）までに、参加申込書により

登米市産業経済部産業総務課 あてにメールまたはFAX、電話でお申込みください。

メールアドレス☎：sangyosomu@city.tome.miyagi.jp

FAX：0220-34-2802 TEL：0220-34-2716

参加申込書

令和 7 年度 登米市有機農業推進セミナー

下記の申込欄に必要事項をご記入の上、
FAXまたはメールでお申込みください。

〈申込先〉 登米市 産業経済部 産業総務課 あて

FAX：0220-34-2802

TEL：0220-34-2716

メールアドレス✉：sangyosomu@city.tome.miyagi.jp

団体・所属名	氏名	住所	TEL